

日本家庭教育学会第 28 回大会

家庭と学校のあり方を問う

— いま何が問題なのか

安倍内閣において早々に「教育再生実行会議」が設置されるなど、教育改革が積極的に推進される状況となった。「いじめ」や「体罰」をゆるさない学校の体制を整備していく一方「道徳」の教科化、「6・3・3・4制」や教育委員会制度の見直しなども検討され、学校教育は大きな変貌が予想される。そうした中で、改めて家庭と学校のこれからのあり方を考えることは、本学会の大会テーマとしてきわめてタイムリーであろう。

◆日時：平成 25 年 8 月 24 日（土）9:45～17:00

◆場所：貞静学園短期大学

東京都文京区小日向 1-26-13
（地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅徒歩約 5 分）

◆参加費：1,000 円（懇親会参加者別途 5,000 円）

◆スケジュール

- 9:15 受付開始
- 9:45 開会式 あいさつ 足立 叡 会長
- 10:00 個人研究発表
- 12:00 昼食・休憩（*全国理事会）
- 13:10 **全体会**

[第一部] 講演「家庭と学校のあり方を問う」

石井 昌浩氏（教育評論家、元国立市教育長）

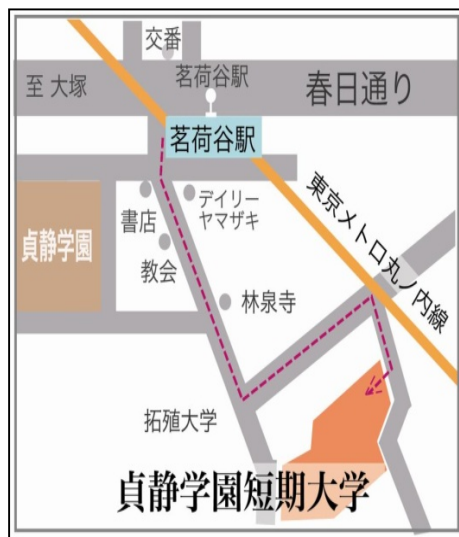
昭和 15 年(1940)山形県生まれ。早稲田大学卒業。東京都教育委員会勤務。東京文化会館副館長、都立教育研究所次長等を歴任。国立市教育長、拓殖大学客員教授を経て東京造形大学講師。専攻は戦後教育史。著書に『教育 そのゆらぎと再生』（学事出版）、『学校が泣いている』（産経新聞社）、『丸投げされる学校』（育鵬社）など。

[第二部] パネルディスカッション 講演者、親の代表、教員代表

コーディネーター：丸山敏秋（副会長）

16:10 閉会式・会員総会 *終了後懇親会

お問合せ：第 28 回大会実行委員会 03-3264-2251（倫理研究所 三浦）



主催：日本家庭教育学会

後援：文部科学省、東京都教育委員会、文京区教育委員会